

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大和物流株式会社海老名物流センター	階数	地上2F
建設地	神奈川県海老名市社家字嵯峨野440番1他18筆	構造	S造
用途地域	指定なし	平均居住人員	40人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年10月 予定	評価の実施日	2018年1月8日
敷地面積	12,349 m ²	作成者	大和ハウス工業(株)厚木支社建築一級建築士事務所
建築面積	6,607 m ²	確認日	
延床面積	11,802 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み

③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
周辺のまちなみや風景のバランスに配慮し、低層建物の計画とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 更新間隔の長い仕上材、給排水管の採用。	Q3 室外環境(敷地内) 接道部分に緑地を設け、近隣の景観に配慮。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 節水器具を採用し、水資源の保護を図っている。 部材の分別が容易な工法の採用。	LR3 敷地外環境 駐輪、駐車スペースの確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される